

## インビトロにおける MGN-3 のヒト NK 細胞活性に対する効果 及びインターフェロン $\gamma$ の合成

M. ゴーナム、G. ナマタラ、C. キム、  
DREW 医科大学、ロサンゼルス、カリフォルニア 90059  
カリフォルニア大学、アーバイン、カリフォルニア 92717

MGN-3 は、糸状菌類の菌糸由来の酵素によって生物学的に修飾された米糠から抽出したアラビノキシランである。

この研究で我々は、MGN-3 の NK 細胞活性に対する効果、及び末梢血液中の単核細胞 (MNC) によるインターフェロン $\gamma$  の合成について調べた。

MNC は、健康体のヒトの末梢血液から採取され、異なった濃度に調整された MGN-3 とともに 16 時間培養された。

NK 細胞の活性は、K562 腫瘍細胞を標的細胞とし、4 時間の  $^{51}\text{Cr}$  遊離法によって測定された。NK 細胞の活性は、0-100  $\mu\text{g}/\text{ml}$  の異なった MGN-3 濃度で有意に変化 (2-5 倍) した。MGN-3 による NK 細胞活性の強化のメカニズムを調べるため、我々は MNC によるインターフェロン $\gamma$  の産生に対する MGN-3 の影響について調査した。

MGN-3 と単核細胞を培養した培養液の上清を集め、ELISA 法によりインターフェロン $\gamma$  の合成について分析をした。その結果、インターフェロン $\gamma$  の産生が 2 倍以上に増加していた。

我々は、MGN-3 がすぐれた BRM (Biological Response Modifier) であり、ガンの免疫療法に有用であると考察する。

MGN-3 は、大和薬品株式会社により提供された。

原著掲載誌：  
The FASEB Journal Abstracts  
1996/6/2-6 New Orleans

原著タイトル：  
Effect of MGN-3 on Human Natural Killer Cell Activity  
and Interferon- $\gamma$  Synthesis in vitro.